

# 広い改札

川走成馬駅に着いています。見つけたのは、他と比べて広い改札です。これは、車いすやベビーカーを使用している方も通りやすい工夫がされています。



# みんなが使いやすい駅にする工夫

駅は、毎日たくさんの方が利用します。お年よりや体の不自由な方のことも考え、みんなが使いやすい駅になるように色々な工夫がされています。私はよく東武東上線泉の川走成馬駅を利用するので、川走成馬駅のバリアフリーをたくさん見つけました。

# 分かりやすいトイレの表示



かべには、いかに大きくトイレのマークがかかれ、言合にとっても分かりやすい案内だと思いました。また、点字ブロックがトイレの前まで続いている。車いすマークがかかっている多機能トイレのドアも入り口が広くボタンを押して自動で開閉するため、とても使いやすいと感じました。トイレの前では音声案内がありました。



視覚障害者用歩行路標識シール

# きけんを防ぐ工夫

エスカレーター、エレベーターの前、駅のホーム、電車のドアの前など事故が起りやすいきけんな場所には、必ず点字ブロックがありました。目が不自由な方にとっては命がけになる大切なものなので、物を置いてさえることができないことが、ホームの方にとって大変だともいいました。また、エスカレーターには、手すり、視覚障害者用歩行路標識シールというエスカレーターの先んを分かりやすくする赤と黄色のびょうしきシールがありました。電車のドアには、ドア注意かん起シールという目の不自由な方に分かりやすいよう、ドアのはしに黄色いシールがはってありました。

ドア注意かん起シール



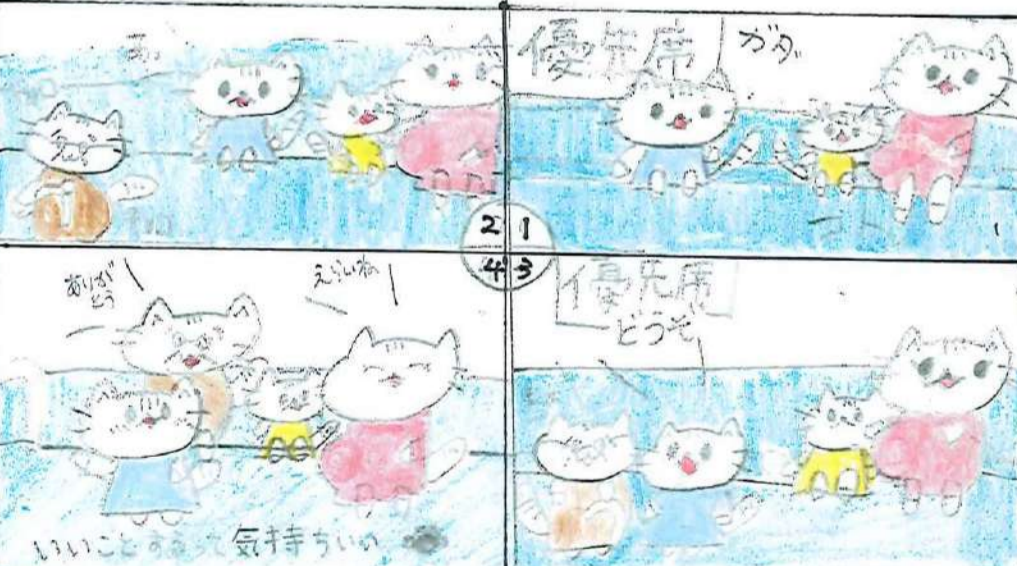
# 優先席とは

優先席とは、身体に障害がある人、高齢者、妊婦、小さなお子様も、病気がついている人によつてくださったように、指定した座席のことです。馬車のホームでもあらかじめ優先席のある車両が分かるよう、ホームドアに表示されていました。

東武東上線川越駅で見つけた  
バリアフリー思いやり新聞



発行日  
令和5年8月6日  
発行者  
星野学園小  
4年 杉木友香



へん集後記  
今回、あつたためて馬車のバリアフリーを調べてみて、こんなにたくさんの工夫があることにとてもおどろきました。馬車の工夫は十分そろっているのでは、駅、電車を利用する私たちが思いやりの心をもって使えとか大切なことだとも思いました。